

報告書抄録

ふりがな	しないいせきしょうさほうこくしょ							
書名	市内遺跡調査報告書							
副書名	平成30年度 公共事業に伴う試掘確認調査 上徳松ヶ花遺跡－富田児童クラブ専用室設置工事に伴う発掘調査－							
巻次								
シリーズ名	今治市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第149集							
編集者名	丸毛 のぞみ							
編集機関	今治市教育委員会							
所在地	〒794 - 0027 愛媛県今治市南大門町一丁目5番地1 電話 0898 - 32 - 5200 (代)							
発行年月日	西暦 2020年3月							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° / ' / "	東経 ° / ' / "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しないいせきしくつかくにんちよ 市内遺跡試掘確認調査	いまぼりきたひよしちよう 今治市山路235、235-1他	38202				20180402 } 20190329	25.0㎡	公共事業に伴う 試掘調査
かみとくまつがはないせき 上徳松ヶ花地遺跡	いまぼりかみとく 今治市上徳396-20	38202		34° 02' 06"	133° 00' 51"	20170412 } 20170414		個人住宅建 (浄化槽及び電 気ポール基礎)
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物	特記事項	
市内遺跡試掘確認調査		弥生時代				弥生土器 土師質土器 瓦質土器 瓦器		
上徳松ヶ花遺跡	集落跡	弥生時代				弥生土器		
要約	<p>平成30年度公共事業に伴う市内遺跡試掘確認調査は5件行い、そのうち遺跡が確認された場所は1箇所であった。平成27年度から実施されている調査で、今回は阿方中屋遺跡の北側にあたる位置で包蔵地が確認された。</p> <p>上徳松ヶ花遺跡は頓田川左岸に形成された微高地上に位置している。この同一微高地上には宮ノ内遺跡をはじめ多くの遺跡が分布している。本調査では1区2区とも大きく攪乱を受けていたが、試掘調査と同様の遺物包含層の広がり確認され、2区においてピット1基を検出した。出土遺物はわずかであったが、その中にはタタキ痕が残る弥生土器の甕胴部片が出土している。当地の南西に広がる宮ノ内遺跡等では弥生時代終末期～古墳時代前期の集落が確認されており、上徳松ヶ花遺跡はその前段階に展開する遺跡と捉えることができる。</p>							